

オペレーティングシステム

この科目では①オペレーティングシステムの基礎知識と、②Linuxのシステムプログラミング(C言語)を学びます。

クラス	教室・座席表	時間帯	教員
2EP1	23-218 *****	水3限	鷹合
2EP2			
2EP3	23-221 *****		田村
2EP4			

This page was last edited at: 2024/09/26 01:39 207

目次

- [1 受講準備](#)
- [2 出席について](#)
- [3 公欠について](#)
- [4 評価](#)
- [5 宿題について \(レポートw01~w14\)](#)
- [6 授業日程・配布資料](#)

受講準備

毎週の授業に持ってくるもの

- 教科書 <https://www.ohmsha.co.jp/book/9784274229213/>
[<https://www.ohmsha.co.jp/book/9784274229213/>]
 - 情報系の専門学校の先生が書いたものなので分かりやすいです。
 - 授業の前に自分で読んでくるようにしてください。
- WindowsPC (「情報工学基礎演習」で使っていたLinux環境をそのまま使います。)
 - [Linuxのインストール](#)
 - [Linux/Windows間のファイル転送方法](#)
 - [Linuxからインターネットにつながる](#)
- 学生証 (出席確認用)

出席について

次の両方を満足しない学生は「欠席」とします。

① カードリーダーによる出席登録 (登録期限: **始業時刻から10分以内**)。

- 登録期限を過ぎた場合は「欠席」として扱います。
- 学生証を忘れた場合は、教員から「出席用紙」を貰い、それに記名して提出してください (ただし、提出時刻が登録期限を過ぎていた場合は「欠席」として扱います)。

② プリントの提出。

- ・「テスト」や「演習課題」など、授業中に配布・取り組み・回収を行うプリントが提出されない場合は「欠席」とします。

2024/01/09 12:39 · takago

公欠について

- ・授業時間中に取り組む課題のうち、配点があるもの（小テスト、試験など）については、公欠が認められた後で対応します。
- ・自宅で取り組む課題（宿題、レポートなど）のうち、eシラバスやGoogleFormなどWebで提出する課題については、公欠かどうかにかかわらず期限の延長はしません（授業を欠席していても、その分は自分で学ぶなどして、**通常の期限通り**提出して下さい）。
- ・公欠したときの授業内容でわからないことがあれば、遠慮なく質問して下さい。

2024/01/09 12:40 · takago

評価

レポート（宿題としてレポートを14回提出）	40
小テスト	20
試験	40

宿題について（レポートw01～w14）

- ・各レポート 2.5点、14回分全て提出すると 5点
- ・各回の話題に関連する内容を**A4用紙1枚以上（PDF形式）**に記して、期限までに **eシラバス** で提出する。
- ・提出期限は、**次回授業日の前日23時59分**までとします。
 - ・ 期限を過ぎたレポートを受け取ることはありません。
 - ・ ネットワーク障害が起こることを考えて、期限の2日前には提出すること。
- ・ 記載内容
 - ・ 最初に、各回の感想を300文字程度で書き、続いて、自分で調べたこと、コマンド練習、作ってみたプログラム、などを書く。
 - ・ 他者の表現をそのまま流用してはならない（整理して自分で表現し直すのは構わない）。
 - ・ **授業スライドやネット上の図・表・文章をコピペしないこと。**
 - ・ **生成系AIが出力した情報をコピペしないこと。**
- ・ 用紙のヘッダー部分は次のようにすること。
 - ・ 左端に「**2024オペレーティングシステム（宿題w##）**」を記しておくこと（**#は宿題番号：01～w14**）。
 - ・ 右端に「**クラス-名列番号**」と「**氏名**」を記しておくこと。

授業日程・配布資料

回	実施日	内容	資料	宿題
1	10/2(水)	Linux演習 I <ul style="list-style-type: none">・ pwd, cd, ls, mkdir, rm, mv コマンドの使い方・ xed, gcc, ps, kill コマンドの使い方・ find, grep, tail, head コマンドの使い方・ シェルの補完機能、リダイレクトとパイプ機能の使い方	ex1-rrz.pdf ex1_src.zip	w01
2	10/9(水)	テキスト「 第1章 オペレーティングシステムの概要 」（早く終わった場合、Linux演習）	chap1-rrz.pdf	w02

回	実施日	内容	資料	宿題
3	10/16(水)	Linux演習II ・ read/writeシステムコールを使った標準入出力の読み書き ・ open/read/write/closeを使ったファイルの読み書き ・ lsof/straceコマンドを使ったプロセスのモニタリング方法	ex2-rrz.pdf ex2_src.zip	w03
4	10/23(水)	テキスト「第2章 プロセスの制御 -その1-」	chap2-rrz.pdf chap2_src.zip	w04
5	10/30(水)	Linux演習III ・ 標準入出力ストリームの読み書き	ex3-rrz.pdf ex3_src.zip	w05
6	11/6(水)	テキスト「第2章 プロセスの制御 -その2-」		w06
7	11/13(水)	Linux演習IV ・ パイプを使ったプロセス間通信	ex4-rrz.pdf ex4_src.zip ---- 【参考】 mint20231109.pdf	w07
8	11/20(水)	テキスト「第3章 プロセスのスケジューリング」	chap3-rrz.pdf chap3_src.zip	w08
9	11/27(水)	小テスト (20分) ----- Linux演習V ・ マルチスレッドプログラミング	ex5-rrz.pdf ex5_src.zip	w09
10	12/4(水)	テキスト「第4章 割り込みの制御 -その1-」 参考) VirtualBoxのマウス統合化機能	chap4-rrz.pdf chap4_src.zip	w10
11	12/11(水)	テキスト「第4章 割り込みの制御 -その2-」		w11
12	12/18(水)	テキスト「第5章 仮想記憶システム -その1-」	chap5-rrz.pdf chap5_src.zip	w12
13	12/25(水)	テキスト「第5章 仮想記憶システム -その2-」		w13
14	1/15(水)	テキスト「第6章 ファイルシステム」	chap6-rrz.pdf chap6_src.zip	w14
15	1/22(水)	試験 (50分)		